

看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する計画表

実施計画作成日：2025年4月作成

項目	現状・課題	対応指針	実 施 計 画	
看護職員と他職員の業務分担	看護業務に専念できないことがある	他職種との協働により看護ケアが実践できる	薬剤師	配薬・持参薬の確認管理
			リハビリ職員	レクリエーションの参加協力 嚥下訓練の支援 良肢位の保持・拘縮予防の手当て等の支援
			栄養士	嚥下訓練の支援 入院時の摂食状況評価
			看護補助者	協働における効率的な役割分担と支援体制の整備
			事務員	病棟訪問者、面会者の対応 患者家族への連絡の支援(面会制限・理髪受付等) ケア物品の点検・補充
		外来部門看護職員の活用	祝日の病棟出番の協力要請 当日人員不足になった時の急遽の協力 処置の介助・備品の準備	
働きやすい職場	看護職員の年齢層が高く、退職が見込まれる者が増加	多様な勤務形態の対応	勤務時間の短縮・開始時間終了時間の変更 夜勤回数の検討 所属場所の異動検討	
		看護職員・看護補助者の確保	看護職員・看護補助者の募集の促進	
	人間関係の調整	メンタルサポート	メンタルヘルス対策の実施 ①ハラスメント・メンタル対策の勉強会 ②相談窓口の活用	

業務の負担軽減	夜間における業務の煩雑さ	看護業務で日勤業務と夜勤業務の内容の調整	日勤・夜勤業務内容の洗い出しをして、業務で廃止できるものを検討する。 夜勤業務から日勤業務に移行できるものを検討する。
		各病棟の業務の統一と物品の配置統一	5 Sを通してステーション内の物品配置を統一する。 業務内容を整理し業務の統一する。